

10月12日(木曜日): 大会2日目

第1会場(大ホール)

09:00 - 10:00 特別講演2

Controlling malaria in Africa

BRIAN GREENWOOD¹⁾

1) Department of Infectious and Tropical Diseases, London School of Hygiene & Tropical Medicine, London, UK

座長: 有吉紅也(長崎大学熱帯医学研究所)

10:00 - 11:00 特別講演3

The progress in the prevention of mother to child transmission (MTCT) of HIV and its research in Africa

François Dabis¹⁾

1) Institut de Santé Publique, Epidémiologie et Développement (ISPED), Université Victor Segalen, Bordeaux

座長: 若杉なおみ(早稲田大学 政治経済学部)

11:00 - 12:00 特別講演4

Achieving MDG 4 in Bangladesh: A review of strategies for further reducing childhood mortality

David Sack¹⁾

1) ICDDR,B: Centre for Health and Population Research

座長: 我妻 喬(財団法人国際協力医学研究振興財団)

13:30 - 14:10 特別講演5

開発・生活・ヒューマンセキュリティー - ベトナム発 -

梅垣 理郎¹⁾

1) 慶應義塾大学 総合政策学部

座長: 神馬征峰(東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学)

14:10 - 16:30 シンポジウム2

国際学校保健 - 政策から実践へ -

オーガナイザー: 竹内 勤(慶應義塾大学医学部 热帯医学・寄生虫学教室)

神馬征峰(東京大学 大学院医学系研究科 国際地域保健学教室)

金田英子(長崎大学熱帯医学研究所)

座長: 竹内 勤(慶應義塾大学医学部 热帯医学・寄生虫学教室)

神馬征峰(東京大学 大学院医学系研究科 国際地域保健学教室)

S2-1 ACIPACによる、メコン圏各国での学校保健支援 - なぜ途上国で包括的学校保健アプローチが必要か -

小林 潤¹⁾

1) 国立国際医療センター 国際協力局 派遣協力課

S2-2 「教科」としての感染症対策

金田 英子¹⁾

1) 長崎大学熱帯医学研究所

S2-3 FRESH の枠組みにおけるスキル重視の保健教育

勝間 靖¹⁾

1) 早稲田大学 大学院 アジア太平洋研究科

S2 - 4 東アジアにおける Healthy School Movement と思春期の人々の Social Capital - 日本、台湾、韓国での調査
経験から -
朝倉 隆司¹⁾
1) 東京学芸大学 教育学部 養護教育講座

16 : 30 - 18 : 30 シンポジウム 4 : 国際保健人材の育成と確保
(国際協力機構 JICA との共同シンポジウム)
オーガナイザー : 仲佐 保 (国立国際医療センター)
石井羊次郎 (国際協力機構)
石井利和 (長崎大学国際連携研究戦略本部)
松山章子 (長崎大学国際連携研究戦略本部)
座長 : 仲佐 保 (国立国際医療センター)
石井利和 (長崎大学国際連携研究戦略本部)

S4 - 1 国内における国際保健医療若手人材の現状に関する調査
木曾 正子¹⁾
1) 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健専攻 国際保健計画学教室

S4 - 2 国立国際医療センターの人材育成戦略
仲佐 保¹⁾
1) 国立国際医療センター 国際医療協力局

S4 - 3 JICA が求める国際保健医療協力分野の人材
石井 羊次郎¹⁾
1) 独立行政法人 国際協力機構

S4 - 4 国際保健の人材育成と確保 : 長崎大学の人材育成戦略
松山 章子¹⁾
1) 長崎大学 国際連携研究戦略本部

S4 - 5 国際保健人材の育成と確保
長嶺 由衣子¹⁾
1) 長崎大学 医学部 医学科

第2会場 (国際会議場)

10 : 10 - 11 : 56 ポスター口演 3 P 2 - 1 ~ 25
マラリア / 寄生虫・その他 / 新興感染症・その他

13 : 30 - 15 : 10 ワークショップ 8
住血原虫の化学療法とその標的分子
オーガナイザー : 北 潔 (東京大学大学院)
座長 : 北 潔 (東京大学大学院)

W08 - 1 インドネシア産薬用植物に含まれる抗バベシア化合物
SUBEKI SUBEKI¹⁾、山崎 真大²⁾、前出 吉光²⁾、松浦 英幸³⁾、高橋 公咲³⁾、鍋田 憲助³⁾、片倉 賢¹⁾
1) 北海道大学 大学院 獣医学研究科 寄生虫学教室 2) 北海道大学 大学院 獣医学研究科 内科学教室 3) 北海道大学 大学院 農学研究科 生物有機化学教室

W08 - 2 *Trypanosoma cruzi* のトランスシリダーゼは parasitophorous vacuole からのエスケープに重要である
上村 春樹¹⁾、神原 廣二¹⁾、Schenkman Sergio²⁾、Rubin-de-Celis Sergio S.C²⁾、Yoshida Nobuko²⁾
1) 長崎大学熱帯医学研究所 2) University Federal of Sao Paulo, SP, Brazil

W08 - 3 *Trypanosoma cruzi* におけるピリミジン生合成第4酵素 DHOD の遺伝的多様性

奈良 武司¹⁾、鈴木 重雄¹⁾、野口 芳江¹⁾、牧内 貴志¹⁾、青木 孝¹⁾

1) 順天堂大学大学院 医学研究科 生体防御寄生虫学

W08 - 4 アフリカトリパノソーマ原虫の glycerol kinase 活性に基づいたアスコフラノンとグリセロール併用による抗トリパノソーマ作用解析

鈴木 高史¹⁾、大橋 光子¹⁾、籐 義貞¹⁾、北 潔²⁾、城戸 康年²⁾、中村 公亮²⁾、坂元 君年²⁾、太田 伸生¹⁾

1) 名古屋市立大学大学院 医学研究科 宿主・寄生体関係学講座 2) 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学専攻

W08 - 5 薬剤標的としての Trypanosome Alternative Oxidase (TAO)の精製と活性中心の解析

城戸 康年¹⁾、坂元 君年¹⁾、中村 公亮¹⁾、藤本 陽子¹⁾、原田 倫世¹⁾、藪 義貞³⁾、鈴木 高史³⁾、斎本 博之²⁾、北 潔¹⁾

1) 東京大学大学院 医学系研究科 国際保健学専攻 生物医化学 2) 鳥取大学 工学部 物質工学科
3) 名古屋市立大学 医学部 宿主寄生体関係学

16:00 - 18:00 ワークショップ10

マラリアの疫学と予防

座長：松岡裕之（自治医科大学 医学部 感染免疫学講座 医動物学部門）

新井明治（自治医科大学 医学部 感染免疫学講座 医動物学部門）

W10 - 1 ソロモン諸島におけるマラリア感染状況の変化と疫学的指標の問題点

大前 比呂思¹⁾、亀井 喜世子²⁾、中澤 港³⁾、山内 太郎⁴⁾、BERNARD MAKOTEE⁵⁾

1) 国立感染症研究所 寄生動物部 2) 帝京大学医学部 3) 群馬大学大学院 社会環境医学 4) 東京大学大学院 医療人類生態学 5) ソロモン諸島国医学研修研究センター

W10 - 2 インドネシア、スンバワ島入植地における急速なマラリア流行発生

神原 廣二¹⁾、上村 春樹¹⁾、BASUKI SUKMAWATI²⁾、DACHLAN YOES P.²⁾

1) 長崎大学熱帯医学研究所 2) Tropical Disease Center, Airlangga Univ, Surabaya, Indonesia

W10 - 3 外来におけるマラリア疑い患者のフォローアップの重要性について - 三日熱マラリア再発例より -

水野 泰孝¹⁾、工藤 宏一郎¹⁾、狩野 繁之²⁾

1) 国立国際医療センター 国際疾病センター 2) 国立国際医療センター 研究所

W10 - 4 クロロキン薬剤耐性を考慮した熱帯熱マラリア伝播モデルの構成：ソロモン諸島を対象として

陳 甜甜¹⁾、仁科 朝彦¹⁾、久兼 直人¹⁾、大前 比呂思²⁾、石川 洋文¹⁾

1) 岡山大学 環境学研究科 人間生態学 2) 国立感染症研究所 寄生動物部

W10 - 5 遺伝子改变弱毒スプロゾイトワクチン開発に向けてのネズミマラリア原虫蚊内発育ステージの培養

新井 明治¹⁾、平井 誠¹⁾、松岡 裕之¹⁾

1) 自治医科大学 医学部 感染免疫学講座 医動物学部門

W10 - 6 東南アジア各国における熱帯熱マラリアの流行と glucose-6-phosphate dehydrogenase (G 6 PD)変異の多様性について

松岡 裕之¹⁾、新井 明治¹⁾、平井 誠¹⁾、川本 文彦²⁾

1) 自治医科大学 医学部 感染・免疫学講座 医動物学部門 2) 大分大学 医学部 総合科学研究支援センター

W10 - 7 マラリア感染における好中球遊走性レクチンの役割

大橋 真¹⁾、上村 春樹²⁾、中澤 秀介²⁾、神原 廣二²⁾

1) 徳島大学 総合科学部 自然システム学科 2) 長崎大学

**19:00 - 公開シンポジウム
多剤耐性菌と院内感染**

(医療関係者の皆様を対象とした感染症に関する公開シンポジウム)
座長：安岡 彰（長崎大学 医学部・歯学部附属病院 感染制御教育センター）

院内感染で重要なグラム陽性菌

本田章子
(長崎大学 医学部・歯学部附属病院 感染制御教育センター)

多剤耐性グラム陰性菌と感染制御

栗原慎太郎
(長崎大学 医学部・歯学部附属病院 感染制御教育センター)

第3会場（会議室1 - 3）

10:05 - 11:30 ワークショップ6

リーシュマニア
オーガナイザー：橋口義久（高知大学医学部）
座長：橋口義久（高知大学医学部）
伊藤 誠（愛知医科大学）

W06 - 1 リーシュマニア原虫媒介サシチョウバエ Phlebotomus duboscqi の唾液タンパクの抗原性解析

加藤 大智¹⁾、Anderson Jennifer²⁾、Oliveira Fabiano²⁾、Valenzuela Jesus²⁾
1) 山口大学 農学部 獣医衛生学研究室 2) Vector Molecular Biology Unit, Laboratory of Malaria and Vector Research, NIAID, NIH

W06 - 2 Could urine really be useful for serum samples for diagnosis of visceral leishmaniasis in a field survey?

Islam Mohammad Zahidul¹⁾, 伊藤 誠¹⁾, Islam Md. Anwar Ul²⁾, Ekram A. R. M. Saifuddin³⁾, 高木 秀和¹⁾, 橋口 義久⁴⁾, 木村 英作¹⁾
1) 愛知医科大学 医学部 寄生虫学 2) Department of Pharmacy, Univ. of Rajshahi, Rajshahi, Bangladesh
3) Department of Medicine, Rajshahi Medical College, Rajshahi, Bangladesh 4) 高知大学 医学部 寄生虫学

W06 - 3 Characterization of *Leishmania* isolates from visceral leishmaniasis (kala - azar) patients in Nepal

PANDEY KISHOR¹⁾, PANDEY BASU DEV²⁾, MALLIK ARUN KUMAR³⁾, SHERCHAND JEEVAN BAHADUR⁴⁾, 柳 哲雄¹⁾, 神原 廣二¹⁾
1) 長崎大学熱帯医学研究所 2) Sukraraj Tropical and Infectious Diseases Hospital, Kathmandu, Nepal 3) Janakpur Zonal Hospital, Janakpur, Nepal 4) Tribhuvan University Teaching Hospital, Dept of Microbiology-Parasitology/Infectious and Tropical Diseases Center, Kathmandu, Nepal

W06 - 4 *Leishmania* isoenzyme polymorphisms in Ecuador: Relationship with clinical presentations

CALVOPINA MANUEL¹⁾, ARMJOS RX²⁾, MARCO JD¹⁾, UEZATO H³⁾, KATO H⁴⁾, GOMEZ EA⁵⁾, KORENAGA M¹⁾, BARROSO PA¹⁾, MIMORI T⁶⁾, COOPER PJ⁷⁾, NONAKA S³⁾, HASHIGUCHI Y¹⁾
1) 高知大学 医学部 2) Health Sciences Program, University of Texas, El Paso, TX, USA 3) 琉球大学 医学部 4) 山口大学 農学部 5) Dpto Medicina Tropical, Universidad Católica Santiago de Guayaquil, Ecuador 6) 熊本大学 医学部 保健学科 7) Laboratorio de Investigaciones, Hospital Pedro Vicente Maldonado, Ecuador

W06 - 5 バングラデシュにおける内臓リーシュマニア症の流行状況

伊藤 誠¹⁾、ALAM MS²⁾、ISLAM MZ¹⁾、SAIFUDDIN E ARM³⁾、ISLAM MD. A UL⁴⁾、RAHMAN MD. A⁴⁾、WAGATSUMA Y⁵⁾、KIMURA E⁵⁾
1) 愛知医科大学 2) Parasitology Lab., ICDDR'B, Bangladesh 3) Rajshahi Medical College 4) Dept. of Pharmacy, Univ. of Rajshahi 5) 筑波大学

16:00 - 17:30 ワークショップ11

腸管感染寄生虫症

座長：橘 裕司（東海大学 医学部 基礎医学系）

宇賀昭二（神戸大学 医学部 保健学科）

W11-1 アカゲザルから単離された赤痢アメーバ株の性状解析

橋 裕司¹⁾、柳 哲雄²⁾、PANDEY KISHOR²⁾、程 訓佳¹⁾、神原 廣二²⁾

1) 東海大学 医学部 基礎医学系 2) 長崎大学熱帯医学研究所 感染細胞修飾機構分野

W11-2 多地域由来のジアルジアの遺伝子型解析：複数遺伝子座による系統樹解析

所 正治¹⁾、I. A. Hussein Amjad¹⁾、春木 宏介²⁾、木村 憲司³⁾、Syafruddin Din⁴⁾、R. Olariu Tudor⁵⁾、
井関 基弘¹⁾

1) 金沢大学 大学院医学系研究科 寄生虫感染症制御学 2) 防衛医科大学校 衛生学公衆衛生学

3) 前澤工業 中央研究所 4) Eijkman Molecular Biology Institute, Jakarta, Indonesia 5) Victor Babes University of Medicine and Pharmacy, Timisoara, Romania

W11-3 ヒトおよび動物から検出された Cryptosporidium の種と遺伝子型の解析

木俣 繁¹⁾、阿部 仁一郎²⁾、松林 誠³⁾、井関 基弘⁴⁾

1) 大阪市立大学 大学院医学研究科 原虫感染症学 2) 大阪市立環境科学研究所 微生物保健課

3) 大阪女子学園短期大学 4) 金沢大学 大学院医学研究科 寄生虫学

W11-4 ネパールおよびラオスの下痢症患者における Cyclospora cayetanensis の感染実態調査

木村 憲司¹⁾、RAI SHIBA KUMAR²⁾、RAI GANESH³⁾、INSISIENGMAY SITHAT⁴⁾、川端 真人¹⁾、
宇賀 昭二⁵⁾

1) 神戸大学 医学部 医学医療国際交流センター 2) Department of Microbiology, Nepal Medical College ,

3) Department of Pathology, Birendra Police Hospital 4) Center for Laboratory and Epidemiology, Ministry of Health 5) 神戸大学 医学部 保健学科

W11-5 ラオスにおける原虫感染下痢症の疫学調査

木村 憲司¹⁾、INSISIENGMAY SITHAT²⁾、SITHIVONG NOIKASEUMSY²⁾、XAYPANGNA THONE-LAKHANH³⁾、川端 真人¹⁾、宇賀 昭二⁴⁾

1) 神戸大学 医学部 医学医療国際交流センター 2) Center for Laboratory and Epidemiology, Ministry of Health 3) Khammouane Province Hospital 4) 神戸大学 医学部 保健学科

W11-6 ラオス国ルアンパバーン県におけるメンダゾールを用いた消化管寄生虫駆虫効果の検討

山本 加奈子¹⁾、天野 博之²⁾、篠原 久美子³⁾、BANOUVONG VIRASACK⁴⁾、PHANMANIVONG VIENG-SAVANH⁵⁾、PHOUNSAVATH SOMMONE⁵⁾、西山 利正²⁾

1) 青森県立保健大学 看護学科 2) 関西医科大学 公衆衛生学講座 3) ラオス国ルアンパバーン看護学校 4) ラオス国ルアンパバーン県マラリアセンター 5) ラオス国保健省治療局

第4会場（会議室4・5）

10:30 - 12:00 ワークショップ7：アジアの貧困・環境・文化における感染症対策の現状と課題

オーガナイザー：伊藤 亮（旭川医科大学医学部寄生虫学教室）

溝田 勉（長崎大学熱帯医学研究所 社会環境分野）

座長：伊藤 亮（旭川医科大学医学部寄生虫学教室）

溝田 勉（長崎大学熱帯医学研究所 社会環境分野）

W07-1 アジアにおけるテニア症・囊虫症の現状と課題

伊藤 亮¹⁾

1) 旭川医科大学 医学部 寄生虫学教室

W07-2 日本・アジアにおけるダニ媒介性疾患の概説

樂得 康之¹⁾

1) チューレーン大学医療センター 公衆衛生熱帯医学大学院

W07 - 3 アジアにおけるメコン住血吸虫症

松田 肇¹⁾、桐木 雅史¹⁾、中村 哲²⁾、Sinuon Muth³⁾、Socheat Duong³⁾

1) 獨協医科大学熱帯病寄生虫学教室 2) 国立国際医療センター研究所 適正技術開発・移転研究部

3) National Center for Parasitology Entomology and Malaria Control

13 : 30 - 16 : 00 Workshop 9

JSPS malaria research project in Vietnam (in English)

オーガナイザー：中澤秀介（長崎大学熱帯医学研究所）

座長：中澤秀介（長崎大学熱帯医学研究所）

W09 - 1 Malaria control in Vietnam: success and challenges

LE KHANH THUAN¹

1) National Institute of Malariology, Parasitology and Entomology, Hanoi, Vietnam

W09 - 2 An outline of the project and case reports of people with a high slidepositive rate in the research site

SHUSUKE NAKAZAWA¹, LE DUC DAO², NGUYEN VAN TUAN², YOSHIMASA MAENO³, HARUKI UE-MURA¹, HA VIET VIEN², TRUONG VAN HANH², LE KHANH THUAN⁴, KAZUHIKO MOJI⁵, TOSHIHIKO SUNAHARA⁵

1) Dept of Protozoology, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Nagasaki, Japan 2) Molecular Biology Dept, National Institute of Malariology, Parasitology and Entomology, Hanoi, Vietnam 3) Dept of Virology and Parasitology, Fujita Health Univ Sch of Med, Toyoake, Japan 4) National Institute of Malariology, Parasitology and Entomology, Hanoi, Vietnam 5) Research Center for Tropical Infectious Diseases, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Nagasaki, Japan

W09 - 3 Variability in abundance of the malaria vector, *Anopheles dirus*, among and within villages

TOSHIHIKO SUNAHARA¹, VU VIET HUNG², NGUYEN DINH NAM², VU DUC CHINH², HO DINH TRUNG², LE KHANH THUAN³, MASAHIRO TAKAGI⁴, KAZUHIKO MOJI¹, SHUSUKE NAKAZAWA⁵

1) Research Center for Tropical Infectious Diseases, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Nagasaki, Japan 2) Dept of Entomology, National Institute of Malariology, Parasitology and Entomology, Hanoi, Vietnam 3) National Institute of Malariology, Parasitology and Entomology, Hanoi, Vietnam 4) Dept of Vector Ecology and Environment, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Nagasaki, Japan 5) Dept of Protozoology, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Nagasaki, Japan

W09 - 4 Mosquito avoidance practice and malaria infection in a minority's community in southern Vietnam

TOMOKO ABE¹, Trinh Dinh Tuong², Nguyen Quang Thieu², Le Xuan Hung², Le Khanh Thuan², Toshihiko Sunahara¹, Shusuke Nakazawa¹, Kazuhiko Moji¹

1) Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Nagasaki, Japan 2) National institute of Malariology, Parasitology, Entomology, Hanoi, Vietnam

W09 - 5 Molecular Epidemiologic Studies of *Plasmodium falciparum* Gametocytes and Analysis of Factors on the Gamete-Carriage in Vietnam

YOSHIMASA MAENO¹, SHUSUKE NAKAZAWA², LE DUC DAO³, NGUYEN VAN TUAN³, NGUYEN DUC GIANG³, TRUONG VAN HANH³, LE KHANH THUAN⁴, KOKI TANIGUCHI¹

1) Dept of Virology and Parasitology, Fujita Health Univ Sch of Med, Toyoake, Japan 2) Dept of Protozoology, Institute of Trop Med, Nagasaki Univ, Nagasaki, Japan 3) Molecular Biology Dept, National Institute of Malariology, Parasitology and Entomology, Hanoi, Vietnam 4) National Institute of Malariology, Parasitology and Entomology, Hanoi, Vietnam

W09 - 6 Microsatellite DNA polymorphisms of chloroquine resistant *Plasmodium falciparum* in southern part of Vietnam

MORITOSHI IWAGAMI¹, SHUSUKE NAKAZAWA², LE DUC DAO³, NGUYEN VAN TUAN³, BUI QUANG PHUC³, NGUYEN DUC GIANG³, SHIGEYUKI KANO¹

1) Dept of Appropriate Technology Development and Transfer, Research Institute, International Medical Center of Japan, Tokyo, Japan 2)Dept of Protozoology, Institute of Tropical Medicine, Nagasaki University, Nagasaki, Japan
3) Molecular Biology Dept, National Institute of Malariology, Parasitology and Entomology, Hanoi, Vietnam

16 : 00 - 18 : 30 ワークショップ12

地理空間的視点からの取り組み

オーガナイザー：谷村 晋（長崎大学熱帯医学研究所）
座長：鈴木 宏（新潟大学大学院 医歯薬学総合研究科）
谷村 晋（長崎大学熱帯医学研究所）

W12 - 1 ルサカ市の未計画居住区におけるコレラ流行の空間的疫学解析

佐々木 諭¹⁾、鈴木 宏¹⁾、五十嵐 久美子¹⁾

1) 新潟大学大学院医歯学総合研究科 国際感染医学講座

W12 - 2 大阪湾岸に移入されたセアカゴケグモの空間解析とそれに及ぼす防除活動の影響評価

二瓶 直子¹⁾、駒形 修¹⁾、小林 瞳生¹⁾、吉田 政弘²⁾、岡田 邦宏³⁾、平良 常弘³⁾、金田 弘幸⁴⁾

1) 国立感染症研究所 昆虫医科学部 2) いきもの研究社 3) 西宮市 環境衛生課 4) パスコ

W12 - 3 Spatial and socio-demographic dynamics of dengue outbreak in 2000 in Dhaka, Bangladesh

Yukiko Wagatsuma¹⁾, Sohel S.M.Nazmul²⁾, Ali Mohammad³⁾

1) Dept of Epidemiology, Graduate School of Comprehensive Human Sciences, Univ of Tsukuba 2) International Institute for Geo-information Science and Earth Observation, Enschede, The Netherlands 3) International Vaccine Institute, Seoul, Korea

W12 - 4 スリランカ津波被災地域での、リモートセンシングと地理情報システムの緊急救援活動における活用とその評価に関する研究

鹿嶋 小緒里¹⁾、山本 秀樹¹⁾、谷村 晋²⁾、中田 敬司³⁾、坂野 晶司⁵⁾

1) 岡山大学環境学研究科国際保健学分野 2) 長崎大学熱帯医学研究所 3) 岡山大学医学部保健学科

4) 日本医科大学大学院 5) 足立保健所中央本町保健総合センター

W12 - 5 途上国のGISマッピングにおける高解像度衛星データの適用

後藤 健介¹⁾、谷村 晋¹⁾、都築 中¹⁾、VU DINH THIEM²⁾、MOHAMMAD ALI³⁾、野内 英樹¹⁾、溝田 勉¹⁾

1) 長崎大学熱帯医学研究所 2) National Institute of Hygiene and Epidemiology 3) International Vaccine Institute

W12 - 6 デング熱流行に影響を与える地域要因の検討 - MCMCによる階層的空間ポアソン回帰のモデルの適用 -

谷村 晋¹⁾、Vu Dinh Thiem²⁾、黒岩 宙司³⁾、溝田 勉¹⁾

1) 長崎大学熱帯医学研究所 社会環境分野 2) National Institute of Hygiene and Epidemiology, Hanoi, Vitnam 3) 東京大学大学院 医学系研究科 國際保健計画学教室

第5会場（リハーサル室）

10 : 10 - 12 : 00 ポスター口演4 P 2 - 26~51

腸管感染症 / 蚊媒介性ウイルス病 / 狂犬病・その他

13 : 30 - 16 : 00 シンポジウム3

MDGs目標4：子供の死亡低減のために何をすべきか

（国際協力機構 JICAとの共同シンポジウム）

オーガナイザー：中村安秀（大阪大学 人間学部）

國井 修（UNICEF本部 Health Section）

座長：中村安秀（大阪大学 人間学部）

S3 - 1 MDGs 目標 4 に向けた JICA の取組み

小林 尚行¹⁾

1) 独立行政法人 国際協力機構

S3 - 2 子どもの死亡削減のために日本は何をすべきか 現場からの提言

野田 信一郎¹⁾

1) 国立国際医療センター 国際医療協力局 派遣協力第 1 課

S3 - 3 MDGs 目標 4 に向けて日本ができること・すべきこと：専門家の立場から（2）

中野 博行¹⁾

1) 聖マリア病院 国際協力部

S3 - 4 MDGs 目標 4 に向けた UNICEF の戦略と実践そして課題

國井 修¹⁾

1) UNICEF 本部 Health Section

16 : 00 - 18 : 00 ワークショップ13

旅行医学

座長：濱田篤郎（海外勤務健康管理センター）

木村幹男（国立感染症研究所）

W13 - 1 長崎県の旅行会社への旅行医学に関するアンケート調査の解析

渡辺 浩¹⁾、宮城 啓¹⁾

1) 長崎大学 医学部・歯学部附属病院 感染症内科（熱研内科）

W13 - 2 当センター予防接種外来におけるマラリア予防薬の処方状況

奥沢 英一¹⁾、古賀 才博¹⁾、打越 曜¹⁾、福島 慎二¹⁾、濱田 篤郎¹⁾

1) 海外勤務健康管理センター

W13 - 3 海外渡航者における A 型肝炎・B 型肝炎抗体価の解析

水野 泰孝¹⁾、加藤 康幸¹⁾、金川 修造¹⁾、工藤 宏一郎¹⁾、矢野 公士²⁾

1) 国立国際医療センター 国際疾病センター 2) 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター

W13 - 4 入院を要したラオス在留邦人及び同国への邦人渡航者についての検討

宮城 啓¹⁾、津守 陽子¹⁾、渡辺 浩¹⁾

1) 長崎大学熱帯医学研究所 感染症予防治療分野

W13 - 5 マラリアに罹患した社員を有する海外進出企業の特徴

古賀 才博¹⁾、奥沢 英一¹⁾、福島 慎二¹⁾、西山 利正²⁾、濱田 篤郎¹⁾

1) 独立行政法人 労働者健康福祉機構 海外勤務健康管理センター 2) 関西医科大学 医学部 公衆衛生学

W13 - 6 海外に滞在する日本人小児の健康上の訴えに関する調査

福島 慎二¹⁾、武田 真実¹⁾、古賀 才博¹⁾、奥沢 英一¹⁾、酒井 理恵²⁾、高橋 謙造²⁾、田城 孝雄²⁾、丸井 英二²⁾、濱田 篤郎¹⁾

1) 海外勤務健康管理センター 2) 順天堂大学医学部 公衆衛生学講座

W13 - 7 旅行医学における特徴とジレンマ

木村 幹男¹⁾

1) 国立感染症研究所 感染症情報センター